



ママとおじさんが
密室で2人きり。

たいへんだ!!
ママがぬいごに
さらわれた!?

さうす太田屋

登場キャラクター



かみなり
神成さきえ

本作のヒロイン。ツクルタウンで息子のゆうと親子2人で暮らしている。数年前に旅に出た夫の帰りをずっと待っている。



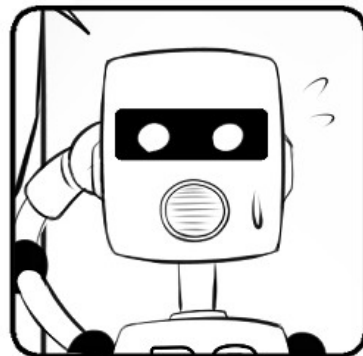
ドクタープラグナント
(森田あつし)

ツクルタウンの発明家。実験の失敗が多い為騒ぎを起こすこともあるが根はまじめ。そして童貞である。



神成ゆうと

天才発明家少年。旅に出た父の代わりに自らの発明品で家計を支えている



プラグナントロボ
20・21号

ドクタープラグナントが作り出した身の回りのサポートロボット。エネルギー消費が激しい為、長時間の稼働はできない。



コットンポット
わたなべくん

ゆうとが作り出した万能型サポートロボ



神成ライ

さきえの夫でゆうとの父。大発明家。数年前に世界中の困った人を自身の発明品で救うため旅に出た。

巨大企業が運営する
街、「ツクルタウン」。

役に立つ発明をした
者には多額の報酬と
名誉が約束された街。

発明家達の競争に
よって人々の生活は
飛躍的に快適になっ
ていった

今日も彼らは
あらゆる場所で
切磋琢磨している

キャー！

あんたどっから
入ってきたのよ!?

何!?
のぞき!?

あら、
こりや失礼。

博士、
聞こえるつき?

今回も実験
失敗だつき

ム...

今ソッチニ
戻ル...

ん?

爆弾を
喰らえ!!

ああああああ!!

ドクター
Drプレグナント
こと
森田あつし

私が手塩にかけた
ロボがああああ!!



まったく……

ごはんの時間は
守りなさいって
言ってるでしょ!!

うっさいなー

もう少しであいつを
捕まえられたのに……

ゆうとのママ
神成さきえ

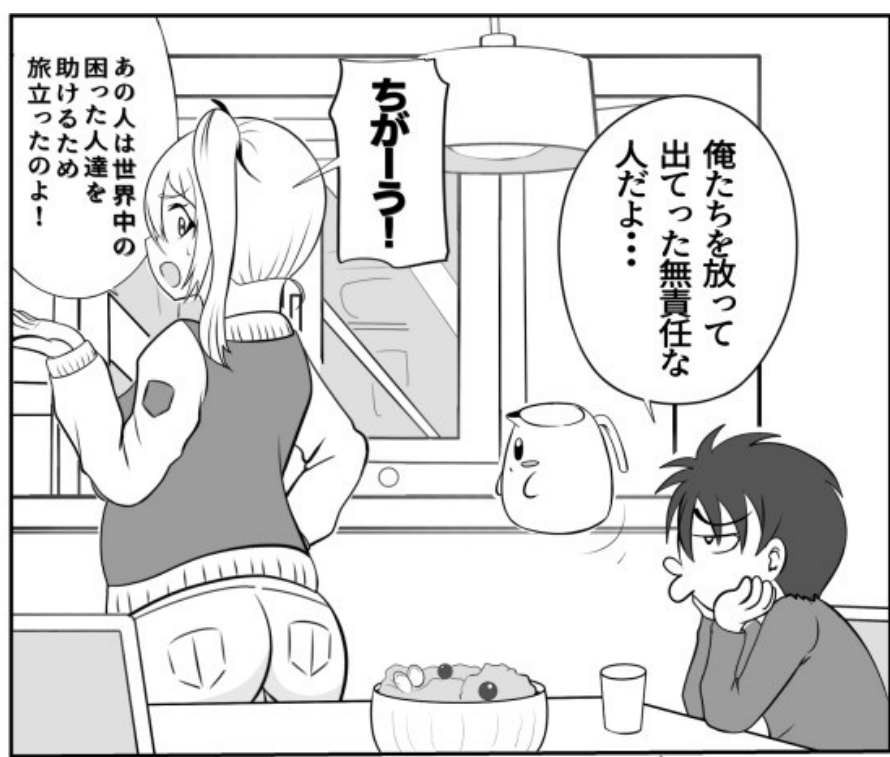
捕まえるったって
実行してるのは
彼の作ったロボット
なんでしょ?

彼自身を罪には
問えないんじゃない?

だからあいつが
指示してるって
証拠を押さえた
かったんだよ!

こらこら
焦るな!

発明家には
心の余裕を持つ事が
大切なんだって
パパがいつも言ってた
でしょ!?



また私のロボが
あいつの発明品に……
一体私と奴に何の差が
あるっていうんだ……!!

博士、それは
頭の中身だつき

この正直者めえええ

いや、
まて。

自覚あるつきいいいい

今回失敗したこの
ワープ装置を改造
すれば……

物質以外にも……
人間の意識も転移
する事ができるかも……!?

あの容姿を手に入
れれば念願の
童貞卒業も夢では
ないぞ!!

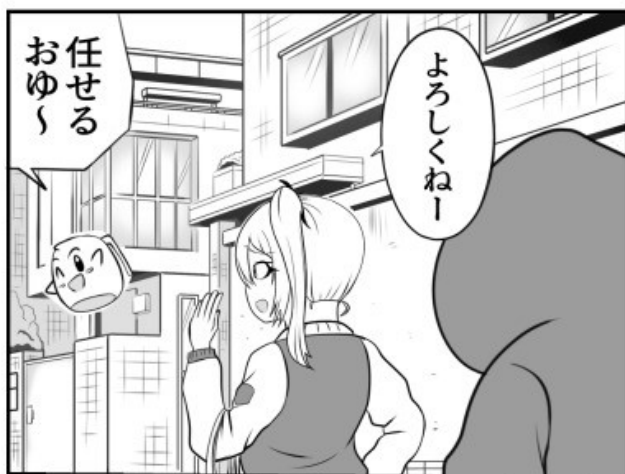
博士! 目的が
変わってるっきー

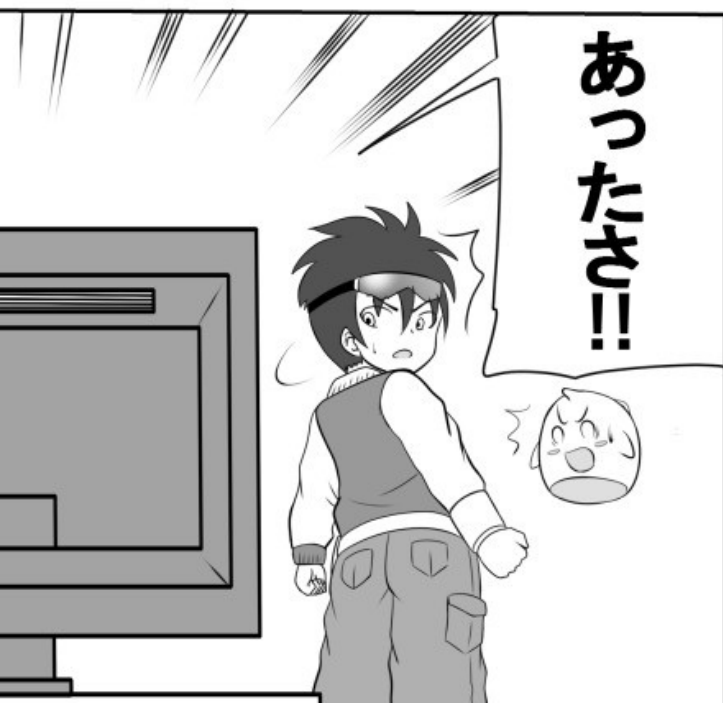
うるさい!
早速改造開始
するぞ!!

もし実験が
成功すれば

実質奴の脳は
わたしのものに
……!!

















それって
近所のママ達より
老けちゃうって事!!



ふざけてる
場合か!!

事の重大さを
まるで分かって
ないな!?



あら、だってあんた
ゆうと同じ発明家
だし優秀なんでしょ?

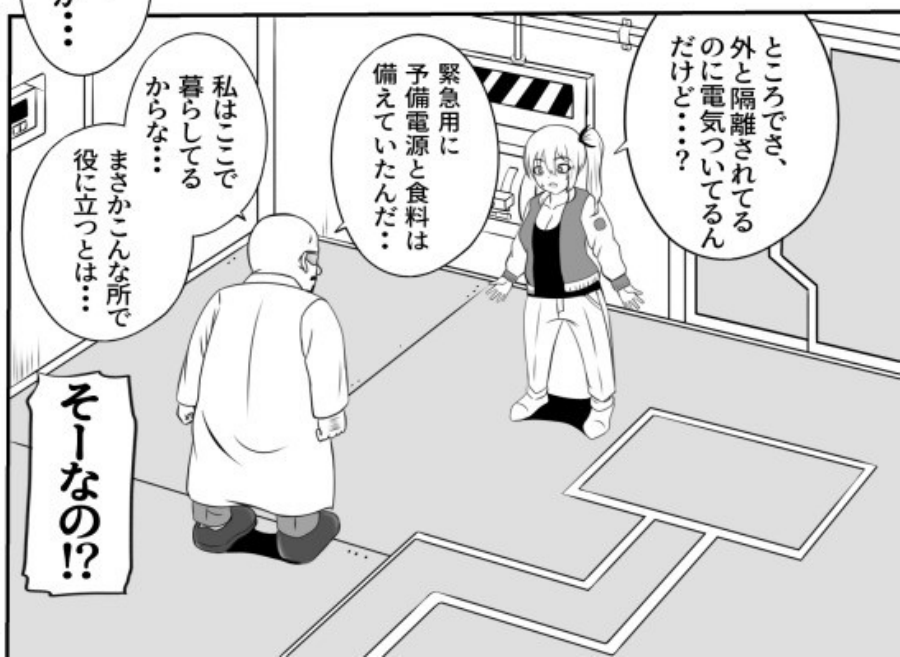
こんなトラブル
どーって事ないん
じゃない?

ま、まー
そうだが...



それなら安心!
あたしにこはん
作らせてよ
まだなん
でしょ?

キッチン
借りるわね。



ところでさ、
外と隔離されてる
のに電気ついてるん
だけど...?

緊急用に
予備電源と食料は
備えていたんだ:

私はここで
暮らしてる
からな...

まさかこんな所で
役に立つとは...

そーなの!?



まったく
のんきな...



奴にママの運命がかかっているのか...

発生源が向こうにある以上彼に託すしかないおゆ...



...つまりママとあいつのいる空間はここと時間の進みが違っていてことなのか

俺たちであの壁を壊せないかな...?

それは危険おゆ！
残念ながらボク達に成すすべはないおゆよ...



ママ...あんな奴に負けないで

すぐ助けに行くから

それまでなんとか無事でいてね...!!



ゆうと、ここにいても何の解決にもならないおゆ

一旦帰ってゆっくり休んで体力回復おゆ！



次元の壁の状況は僕が遠隔で監視してるおゆ
壁がなくなり次第すぐ助けに行くおゆ！

...そうだな...

う……うまい

でしょー
感謝しなさいよー
今までまともな食事
してなかったでしょ

あんた息子が
言うほど悪人に
見えないのよね

なんで覗きロボ
なんて作ったの？

覗き!? また
それか!

私はずっと
ワープ装置の開発を
しているのだ!!

あんたが引いた
レバーはこの研究所
そのものを転移する
装置の試作機だ……

もし成功すれば
渋滞もなくなり
あらゆる面で人類は
進歩できるのだ……!!

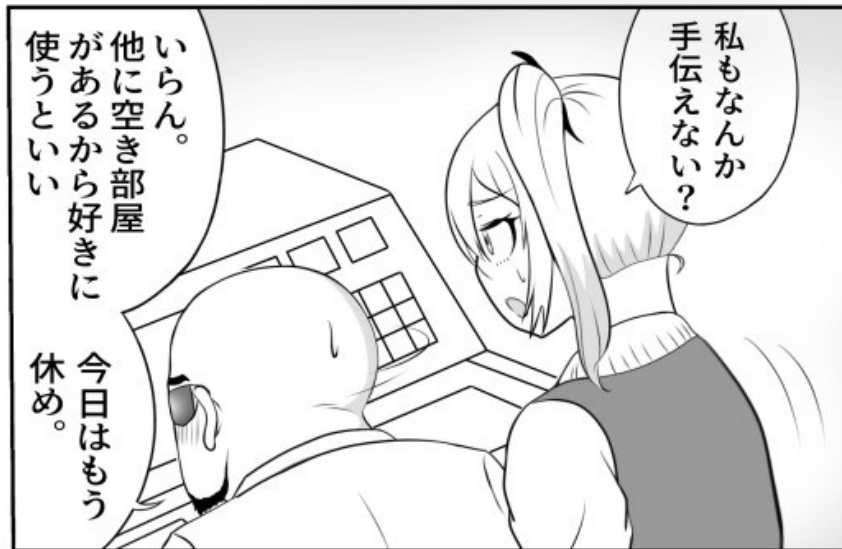
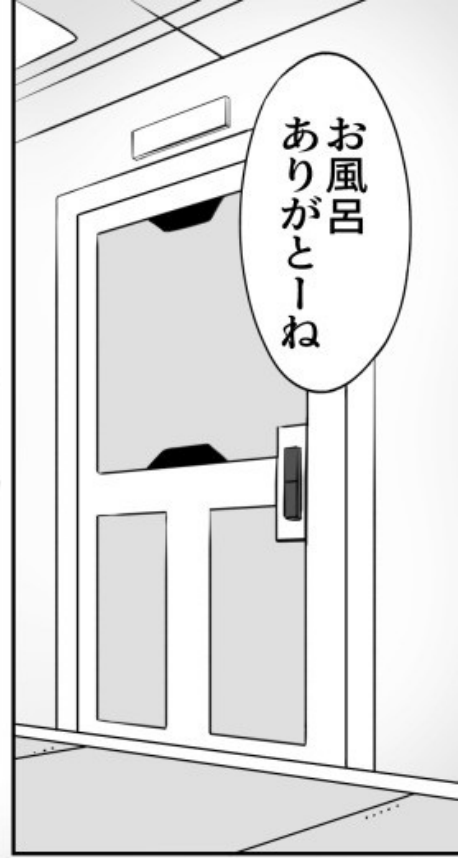
あんたいい奴
だったのね……

当たり前
だっ!!













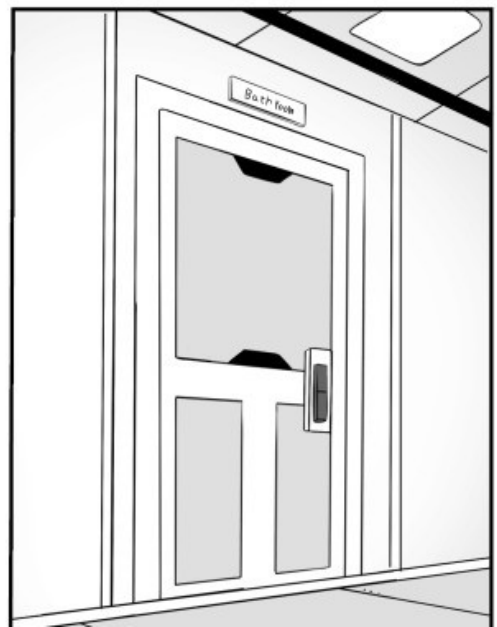
これなら一年
密室の中でも退屈
しないで過ごせそう



彼の自宅兼研究所
という事もあり
いろいろと設備は
整っていた



そうして
あつという間に
一週間が過ぎた



あなた…初日から
あたしの事覗いて
るんでしょ？

カメラ
どこよ!?

……な…
なんでわかった

やっぱり!

視線で
バレバレ
なんだけど？

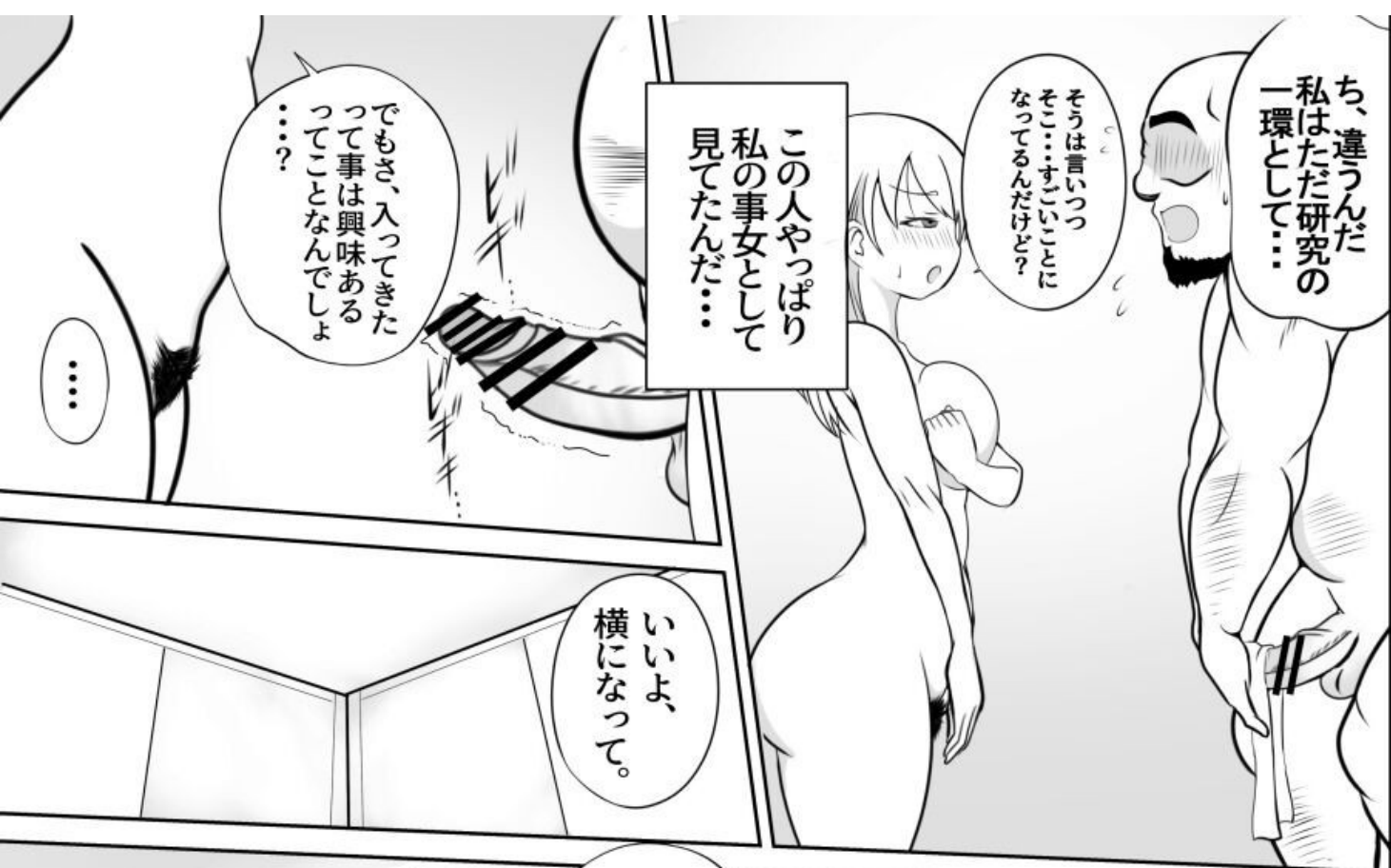
ち、違う！
私はただ
人体の研究で…

ふーん…

そんな興味
あるんなら
入ってくれば
…？

別々に入るより
エネルギー節約に
なるんじゃない…？

ガーン



おおおお
おおおお!!

ちょっと
大丈夫……?

ぐう……っ
異性に触れられる
のがこんなす……い
なんてえ……っ

えっ、
あんたもしかして
経験ないの……!?

こんなに
いい事があった
なんて……!!

いっ……今まで
発明だけに人生を
かけてきたから……

……ぐうっ……!!

……
なんて勢い
なのよ……

やっぱり風呂で
正解だった……

どう?
すっきりできた?

また気が向いたら
手伝ってあげる
から……

出るっ!!



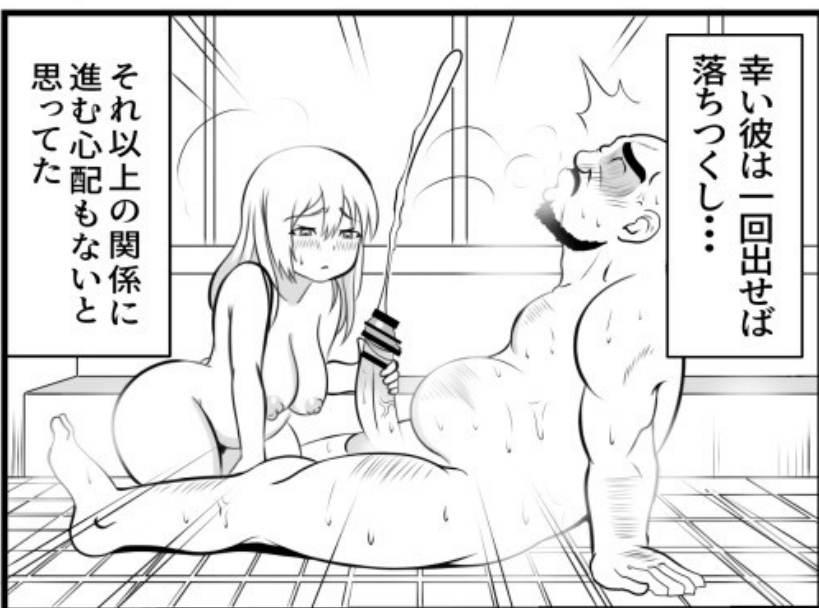
案の定彼は毎晩
それを求めてきた



けど彼も
男だった



幸い彼は一回出せば
落ちつくし...



それ以上の関係に
進む心配もないと
思ってた



ここを出るまで
一線だけは越えたら
いけない...



どーしたの
まだなの...?



ほら、
いっていいよ...



ながされたらダメ…
余裕持たなきゃ…

この人は
性欲と恋愛感情を
混同してるだけ…

にゅる
にゅる
にゅる

おおお…
おっさんに
挿入だわ!!

んんっ…

イッ
ッ

うわっ…
出すなら出すって
言いなさいよね!

いつもより
濃い…

なかに入ったら
大変なんだから
ね!?

あつぷな



そこお！
当てないで！



もう一回だけ…
ママさんの感触
味わわせて？

まさか…！
入れようと
してるの！？

どーして！？
いつもは一回で
おさまるのに！



だめだめだめ
だめえ！

挿入っちゃってる
挿入っちゃってる！



ママさん
……っ！

あああ…やばっ
気持ちいい…

もういいでしょ！
すぐ抜いて！



出すよっ!!
ママさんの
膣内に…っ！

膣内だけは
やめてっ!!



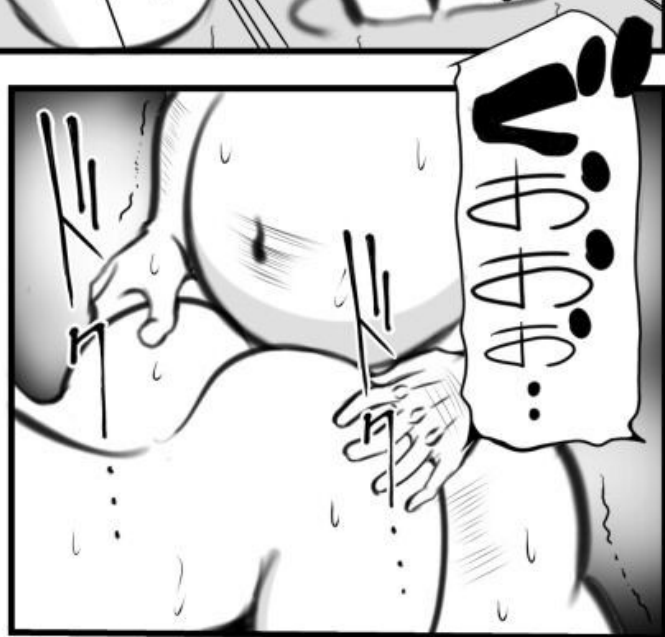
ママさん……！好き
なんだよおお！

やめてっ!!
シヤレになってない
からあ！



出る出る出る
出るう…っ！

イヤああ
あああ!!





洗うの恥ずかしい
から出てっよ!

あの…
すまん…



はあ…
ギリギリやばい日
じゃないはずだけど…
まったくも…

は—

は—



お：俺は
本気なんだが…

冗談でも好き
とか言わないで…



もーっ膣内に
こびりついてる…

何てこと
してくれんのよ!!



一度タガが外れて
しまつてからはもう...

はあ

彼は遠慮もせずただ
目の前の女をものに
しようと体を求めて
きた

ママさん♡

ちゅる

あつしさん♡



あたしの体の
外にも膣内にも
出し続けて



体を重ねる
ごとに距離は
縮まっていき



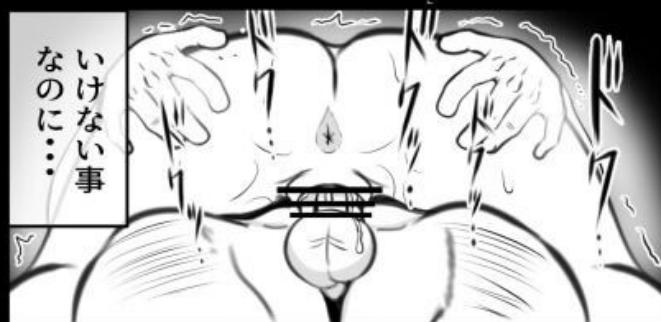
私たちは肉欲に
溺れていった





回数も忘れるくらい
中出し三昧に...

あつしさん...♡



いけない事
なのに...



あたしが外で
過ごした思い出を
すごい勢いで彼が
上書きしてくる...



そのうち日がな一日
セックス漬けに...♡



もー♡
出しすぎだから
...♡

今日はこのまま
寝るぞ♡起きたら
また続きしような♡



すごっ...
また出てる♡

ぐおお...っ!!

最期の一滴まで
膣内に塗りこむ
からなっ♡

一応避妊は
お願いしてたけど…



彼は積極的に
中出しを選んだ

何度も
何度も…



さきえ…
好きだよ♡



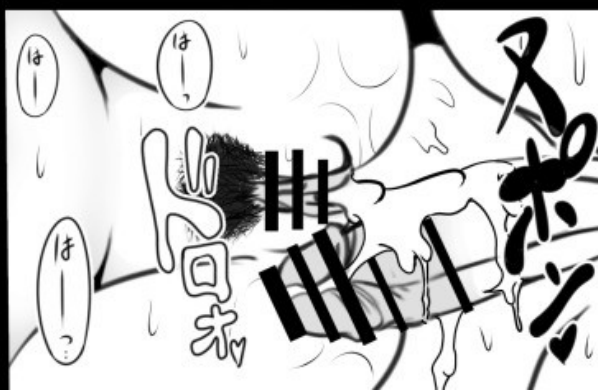
目の前の私を
ものにしようと
必死に…

次第にあたしも
白く染められて
いき…



受け入れては
いけない彼の遺伝子を
体が求めだした…

心も体も塗り
変えられちゃう…



もう一回♡
もう一回♡



やりたい時にやって
食べたいときに食べる

どちらともなく
気付けば繋がって

好き勝手に
お互いの性を
むさぼり合う

世間を隔てた空間では
本能が加速するのか

私たちはすぐに
ただの雄と雌に
なり替わっていた

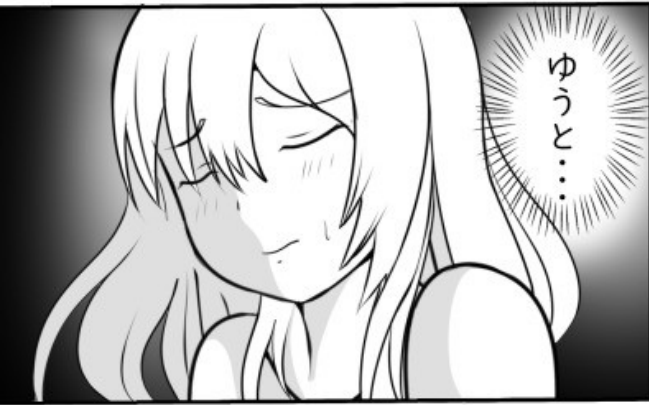
そして彼は
ためらいもなく
私の中に子種を残す



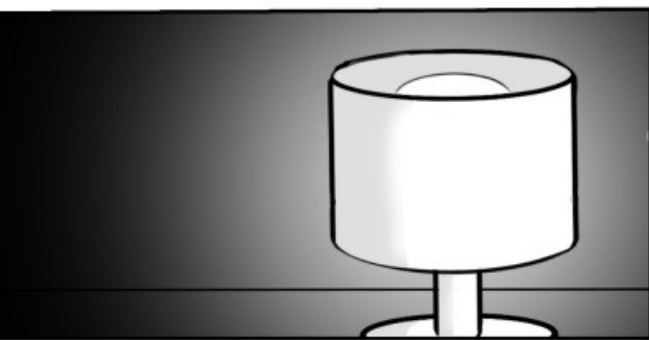
かすかに残る
母親としての理性が
妊娠を拒んでる

本能にまかせて
セックスに溺れて
いても

一つだけ残る
心のしこり
.....



ゆうと...



ゆうとがあたしの
おなかの中にいた
頃ね、それまで感じた
ことないくらい体が
幸せだったのね。

最近ね...
また同じ感覚になる
ときが増えてるの
それってさ.....

あたし・・・
またあの子の
母親に戻る
かな・・・

なあ、
さきえ・・・

んー・・・？

やっぱり、
俺たち夫婦に
ならないか？

！

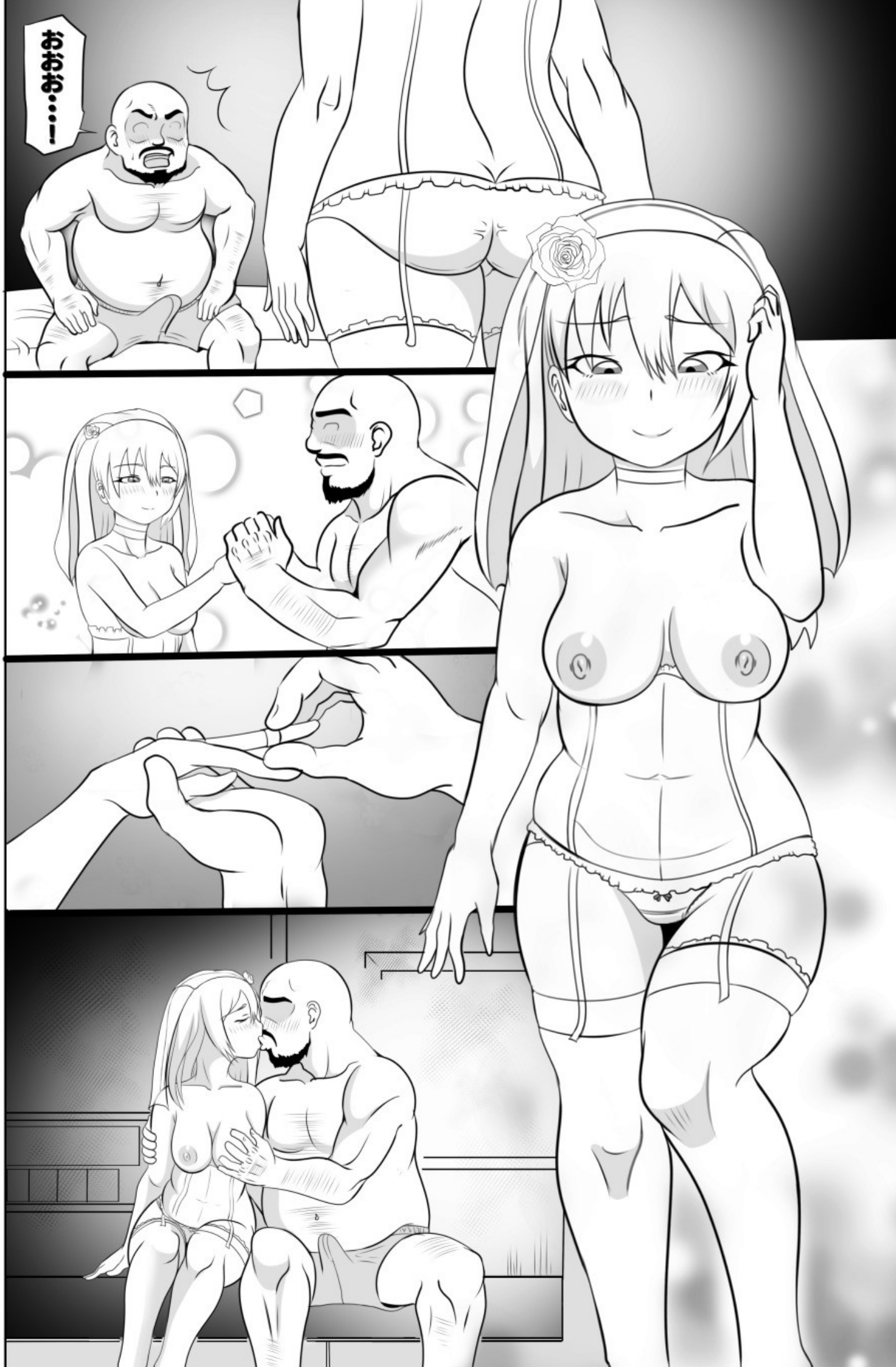
私も息子と
仲良くやって
みせる！

んー・・・

だから
・・・な？
ダメか・・・？







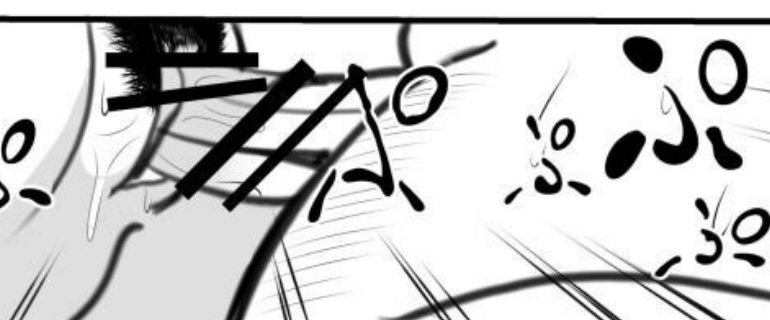


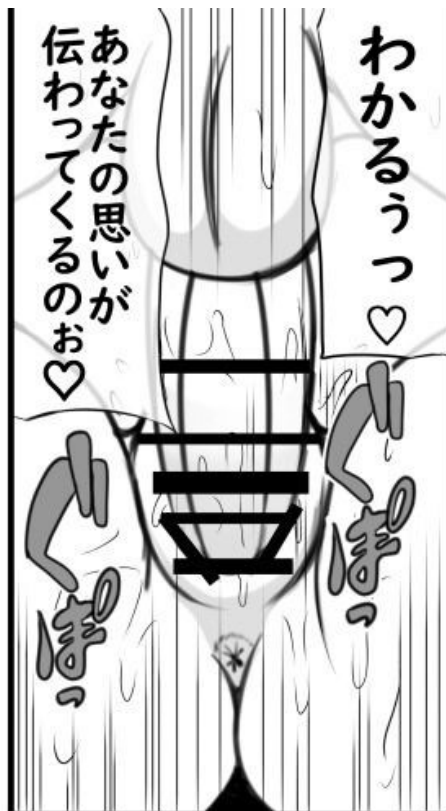
子作りする為だけの
繁殖セックスするぞ
さきえ……♡♡

ん♡
楽しみ……♡

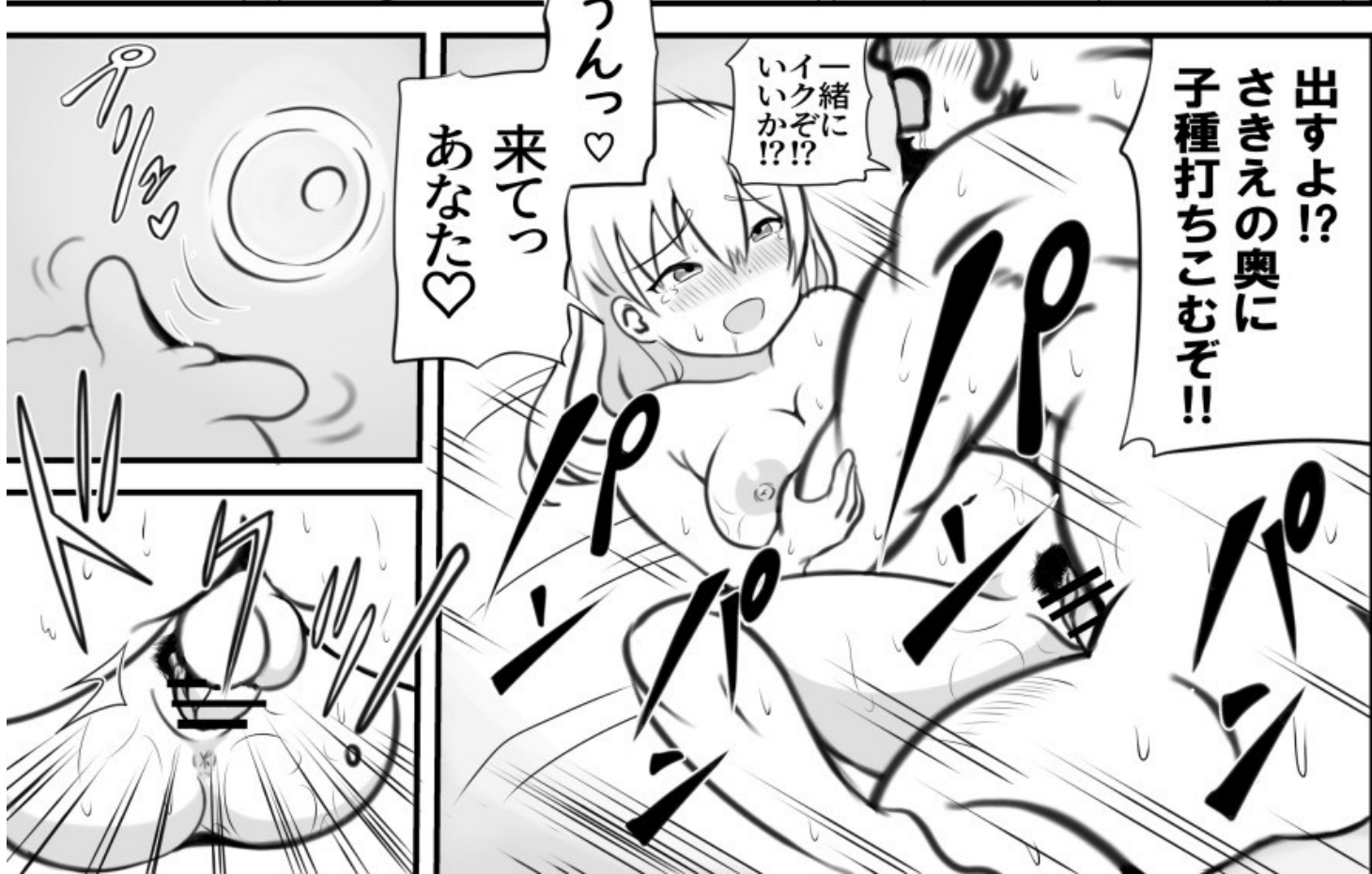
ゆうとも
きつと喜んで
くれるよね……

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ













うーん

ええっ!?

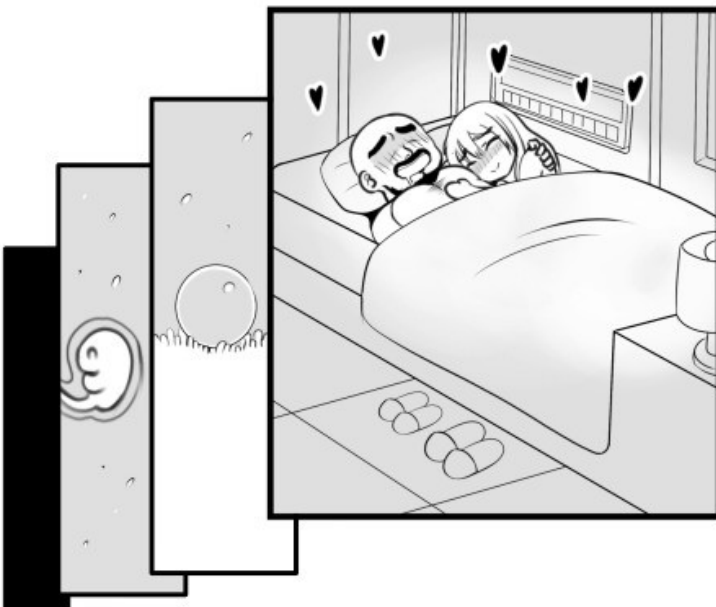
すまん痛く
しちゃった!?

ちがうの、

もう
嬉しくて
嬉しくて…

まさかこの年になって
また赤ちゃんが産める
なんて…





ついにこの時が
来たぞ……!

もう
完全に次元の壁は
取り除かれてるおゆ!

いこう
わたなべくん!

入口を
破壊だあ!

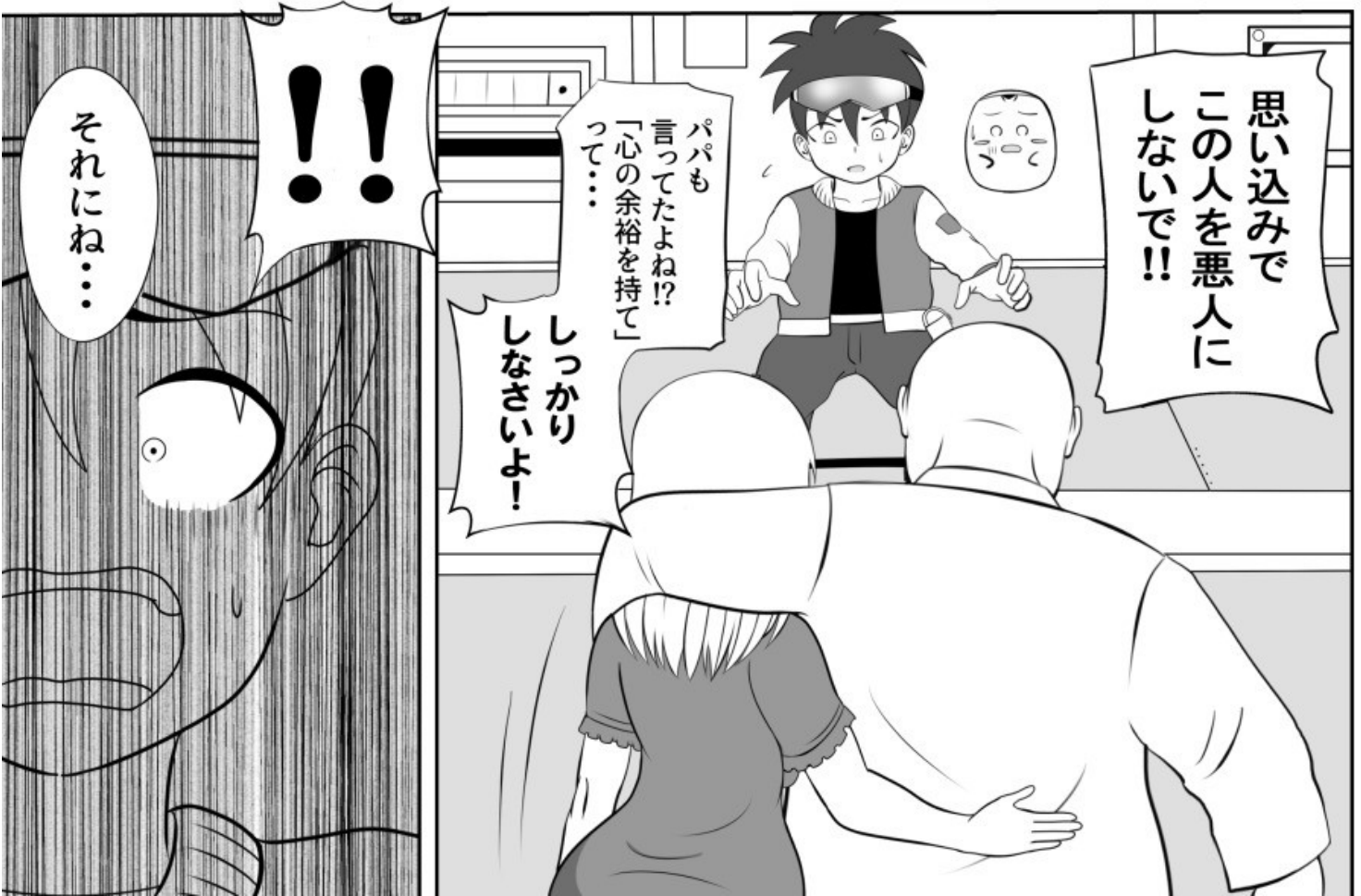
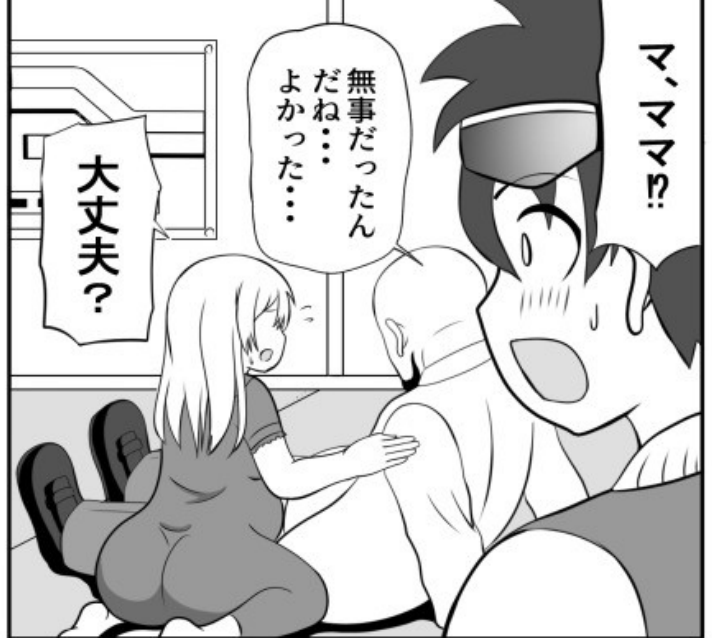
おゆ!

今入口
開けるねー

ママ……!?
無事だったんだね!?

あらあゆうと
元気してた?!







たいへんだ!! ママがあいつに
さらわれた!?

サークル: さうす太田屋

作: いどがや弘明

twitter: @southotaya